



まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版



平成25年1月1日号
発行
かながわ
1区支部
編集長
平木 茂

1月号
2013年
No.121

松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp)

▶ 検索キーワード「松本純」

衆議院厚生労働委員長に就任しました 「福祉の専門家」松本純の出番です!

皆さまに5期目となる国政の場に送っていただき、松本純は政権を奪還した第2次安倍内閣が始動する中で、衆議院厚生労働委員長に就任しました。

厚生労働委員会は年金・医療・介護・雇用・子育てなど、私たちの「安心の暮らし」に関する政策を立案・審議する場です。その最高責任者に任命されたことは、松本純の「福祉の専門家」としての12年余の国会議員活動が認められたものです。その重責を感じるとともに「今こそ私の出番だ!」と奮い立つような思いです。

委員長としての初仕事は特別国会開会式に臨席される天皇陛下を、議長らとともにお迎えすることでした。平成24年12月28日、初めて経験するモーニング姿での公式行事です。初委員会の開催はその日午後の衆議院第16委員室。松本純は開会を宣した後、「国民が安心して暮らせる社会を実現するためには、持続可能な社会保障制度の構築が急務であり、働く人が生きがいを持って働ける環境の整備・充実にも取り組む必要があります」とあいさつし44人の理事、委員の皆さんに協力をお願いしました。



厚生労働委員会にて

私たち自民党は総選挙で「震災復興」「経済再生」「日米同盟強化」を最優先課題として皆さまにお約束しました。厚生労働委員会はこのうち特に前の2項に深く関係します。震災復興では今、被災地での医療・介護分野での人手不足が深刻で、その対応を急がなければなりません。経済再生では、デフレ・円高から脱却して景気をよくすることで持続可能な社会保障制度が維持されます。雇用や所得の増大も経済の再生なしには実現できません。つまり経済再生は国会・内閣を問わず全政治の責任なのです。

第2次安倍内閣は年末・年始の休みを最短にして大型の補正予算と平成25年度予算の編成に取り組んでいます。切れ目のない景気対策で、なんとしても日本経済を成長軌道に乗せなければなりません。今回の総選挙で有権者は民主党政治を否定しましたが、必ずしも自民党政治に全面的な信頼を置いているわけではないでしょう。このうえは結果を出し、実績を積み上げて皆さまに伝えていくほかはありません。松本純の5期目は、これまで以上に熾烈な戦いであり、必死の働き場だと思っています。

平成24年 第46回衆議院議員総選挙(神奈川1区)選挙結果

			中区		磯子区		金沢区		1区	
有権者数			114,172		135,093		169,058		418,323	
投票率			56.31%		59.05%		63.88%		60.26%	
投票者数			64,289		79,779		108,000		252,068	
当	氏名	会派	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率
	松本 純	自民	26,497	42.37%	31,480	40.47%	43,261	41.03%	101,238	41.20%
	中林美恵子	民主	11,559	18.49%	16,867	21.69%	22,501	21.34%	50,927	20.72%
	松本 孝一	維新	10,881	17.40%	12,917	16.61%	17,401	16.51%	41,199	16.77%
	山下 頼行	みんな	9,702	15.52%	11,509	14.80%	15,495	14.70%	36,706	14.94%
	明石 行夫	共産	3,892	6.22%	5,003	6.43%	6,769	6.42%	15,664	6.37%
計			62,531	100.00%	77,776	100.00%	105,427	100.00%	245,734	100.00%

2012-12
松本議員の活動記録



12/8 磯子区浜マーケットにごあいさつ



12/13 中区表田町にて街頭演説



12/15 麻生太郎総理が応援(金沢文庫駅)



12/16午後8時14分「当選確実」が流れる



12/2 磯子区森が丘自治会の餅つき



12/7 金沢の朝比奈カラオケ会



12/17 中区中部第一地区連合町内会忘年会



12/22 第16回南関東テコンドー選手権大会

永田町日記

原点に帰って「福祉」に取り組めます！

今回の総選挙に、私は自分の政治の原点を見つめなおし、そこから再出発することを決意して臨みました。松本純の原点とは？別表をご覧ください。別表を分りいただけるとは思いますが、私は国会で初当選以来一貫して厚生労働委員会委員を務めています。この委員会の役割は、年金・医療・介護・雇用・子育てなどの政策立案と審議です。薬剤師である私は、皆さんの健康・福祉に寄与したいとの思いから、横浜市議を経て国政を目指しました。これが私の原点であり、厚生労働委員会は私がライフワークに取り組む場所です。

次いで長く務めたのが総務委員会委員です。私の内閣での最初の要職も総務大臣政務官でした。総務委員会・総務大臣政務官も、その役割は行政改革・選挙制度・地方行財政とともに消防・防災、消費者相談など生活に直結する政策を扱っています。「国民の安全・安心の暮らし」という意味では、福祉と強い共通性をもつ官庁であり委員会です。麻生内閣での内閣官房副長官は、全省庁と内閣、国会・党と内閣の間を調整し、内政から外交まですべての政治テーマをこなさなければなりません。1年余のその職務はまさに激務でしたが、私の政治経験に多くのものを加えてくれました。

そして今、衆議院厚生労働委員長に就任しました。重い職務ですが、私のホームグラウンドですから思い切って挑戦します。(純)

松本純12年の歩み

- 【国会】
- 平成8年10月 初当選
- 11月 公選法改正調査特別委員
厚生委員会委員
- 10年 1月 議院運営委員会委員
- 11年 1月 政治倫理確立・公選法改正特別委員
- 10月 内閣委員会委員
- 11月 内閣委員会理事
- 15年11月 総務委員会委員
- 17年 5月 郵政民営化特別委員会委員
- 9月 総務委員会委員
- 11月 議院運営委員会理事
厚生労働委員会委員
- 21年 9月 厚生労働委員会委員
- 10月 消費者問題特別委員長
- 24年11月 厚生労働委員会理事(野党筆頭)
- 12月 厚生労働委員会委員長
- 【内閣】
- 平成15年11月 総務大臣政務官
- 17年 9月 総務大臣政務官
- 20年 9月 内閣官房副長官